

達人に聞く！グリーンカーテンのある夏

グリーンカーテンの育て方・楽しみ方

宮田村グリーンカーテンコンテスト入賞者のみなさんに「グリーンカーテンの育て方、楽しみ方」についてお聞きしました
グリーンカーテンにかかる愛情はもちろん、工夫しながら、楽しく育てていらっしゃいました

平澤 美代志さん（個人の部 最優秀賞）

毎年、街中で夏の青い空に映える素敵なグリーンカーテンを作っていらっしゃいます。
アサガオのカーテンに他の植物を合わせ、全体の華やかさも演出しています。

プランター



種まき:

アサガオの種はまわりの皮が硬いので、一晩水にひやかして発芽しやすくする。
発砲スチロールの箱やポットを利用し、種まき培土を入れて、種を蒔く。
(種まき培土は発芽しやすいように調整された培養土。ホームセンターにあります)
水やりをし、発芽後、本葉が2~3枚になったら、植え替える。

植え替え:

プランターでグリーンカーテンを作る場合は、60cm×30cm×30cm(深さ)くらいのものに3株を目安にする。
(プランターでアサガオを大きく育てるには、ある程度の土の量が必要。大きめのプランターを使う)
市販の培養土を使わない場合は、土に腐葉土や油かす、化成肥料を加え、土作りをする。
苗の根を切らないように、まわりの土ごとそと取り、プランターへ植え替える。

水やり:

土の様子を見て、朝夕2回、水やりをする。
(夏は朝、涼しいうちに水やり。夕方は少し涼しくなってから)
水やりはプランターの下から水が出るくらい、しっかり水をあげる。

摘芯:

本葉が8~10枚になったら、本葉5枚目の上で摘芯する。
(これで脇芽が伸びていき、ツルが増える)
その後も適宜、摘芯し、脇芽を増やしていく。
脇芽が増えることで葉や花が増え、グリーンカーテンにボリュームが出る。

肥料:

月に3回程度、液肥を与え、月に1回を目安に化成肥料(粒状)を与える。

グリーンカーテンの楽しみなど:

最初はあんどん仕立てでアサガオを育てていましたが、グリーンカーテンに挑戦し、その年の第1回コンテストに入賞したことをきっかけに毎年、グリーンカーテンを作っています。
夏は毎朝、アサガオが咲くのを楽しみに起きます。
清々しい夏の朝にキラキラ輝く緑の葉と鮮やかな花は、とてもきれいです。
手間と愛情をかけて育てたアサガオがたくさん咲く光景は、通る人の目も引き、それも張り合いになります。
グリーンカーテンで街中が美しくなり、それが少しでもエコにつながれば良いと思います。

平澤さんにお聞きしたコツ



田中さんにお聞きしたコツ

田中 勉さん（個人の部 優秀賞）

お孫さんも含め、ご家族で楽しくグリーンカーテンを作っていらっしゃいます。
アサガオは品種を混ぜてカーテンにし、花の色や形の違いも楽しめるカーテンにしているそう。

地植え

アサガオの種について:

前年に採取した種を保存しておき、それに新たに買った種を足している。
大輪のアサガオは葉も花びらも大きいので、グリーンカーテンに向くと思う。

ネットへのツルの這わせ方:

ツルが伸びてきたら、まめにネットに巻き付けてあげ、自然とカーテンの形になるよう、手をかける。

水やり:

お孫さんが自ら楽しみながらやってくれる。

グリーンカーテンの楽しみなど:

グリーンカーテンを作り始めたきっかけは当時、お孫さんが保育園でふれあいフリーマーケット実行委員会とアサガオの種まきをし、その苗を家に持って帰ってきたことからです。
親戚もグリーンカーテンを作っていたので、我が家でもやってみようとなりました。
土作りやネット貼りは私が担当し、種まきや水やり、花が終わった後の種採りは娘や孫がやり、家族で楽しくグリーンカーテンを作っています。



2014年からアサガオの苗を無料配布しています!



(有)初崎製作所 (団体の部 最優秀賞)

地植え

社屋の西日避けるため、約25mのグリーンカーテンを作成。
生育状況等を社内にて情報共有しながら、取り組みました。

初崎製作所さんにお聞きしたコツ

グリーンカーテンの設置場所：
社屋の西側外壁部分に作成、グリーンカーテンの長さは25m。
元肥を十分に施し、地植えで雑草対策と保水目的でマルチ敷きとした。

種まきなどのスケジュールについて：
前年度に収穫したアサガオの種を活用し、5月連休明けに種まきした。
その後、6月初旬に移植し、7月中旬くらいまでに3回の追肥を実施。

摘芯について：
7月に摘芯し、その後、屋根にかかりそうになったツルの先端を随時、摘芯した。

水やりについて：
1回/1日、夕方のみ

グリーンカーテンの楽しみなど：
生育状況などを下記の方法により、社内にて情報共有し、会社全体で取り組みました。
①グリーンカーテン活動便りを発行してグリーンカーテンの進捗状況をアピール。
昨年度は1～6号まで発行。
②グリーンカーテンの写真を展示して出来栄をアピール。

なごみ家 (団体の部 優秀賞)

地植えとプランター

花だけでなく、実のなる植物でもグリーンカーテンを作っています。
皆で育てることで、会話も弾み、コミュニケーションのきっかけとなっています。

なごみ家さんにお聞きしたコツ

育て方：
地植えもプランターも肥料を入れ、植物が育ちやすいように良い土にする。
ネットは大き目のものをしっかり屋根下に吊るす。
水やりはこまめにし、液体肥料を週に一度くらい与える。
ゴーヤは摘芯を早めに行い、ツルが広がるようにする。

グリーンカーテンの楽しみなど：
暑い夏に爽やかなグリーンで涼しさを体感できます。
花だけでなく、実のなる植物(ゴーヤ)も育てるので、収穫の楽しみがあります。
南向きの大きな窓からの日差しの強さをやわらげ、窓から入る自然の風がエアコンへの頼り過ぎをなくしてくれます。
皆で作業(手入れや水やりなど)をすることで、会話が弾みます。

(株)マルニシ伊那店 (団体の部 奨励賞)

プランター

10年以上前からグリーンカーテンを作っており、きれいな花は社内の会話につながり、癒しにもなっています。
社員が交代で水やりをし、手間と愛情をかけて育てています。

マルニシさんにお聞きしたコツ

グリーンカーテンの設置場所：
社屋の東側、西側の窓を覆うようにグリーンカーテンを作成。

育て方：
プランターの土(前年度のもの)を半分入れ替え、使用している。
ネットを張り、ツルを自然に這わせている。
社員が交代で水やりをし、肥料を与えている。

グリーンカーテンの楽しみなど：
10年以上、グリーンカーテンを作っています。当初2～3年は上手いかず大変でした。
ゴーヤでグリーンカーテンを作ったこともありますが、近年はアサガオで作っています。
東側と西側の窓一面にグリーンカーテンを作成したので、強い日差しを遮って室温が下がり、それがエコにつながりました。コンテストへの応募も意識し、楽しみながら育てました。
(入賞でいただいた商品券は、観葉植物やマスクを購入し、それは社員の楽しみのひとつになっています)

東保育園 (団体の部 優秀賞)

プランター

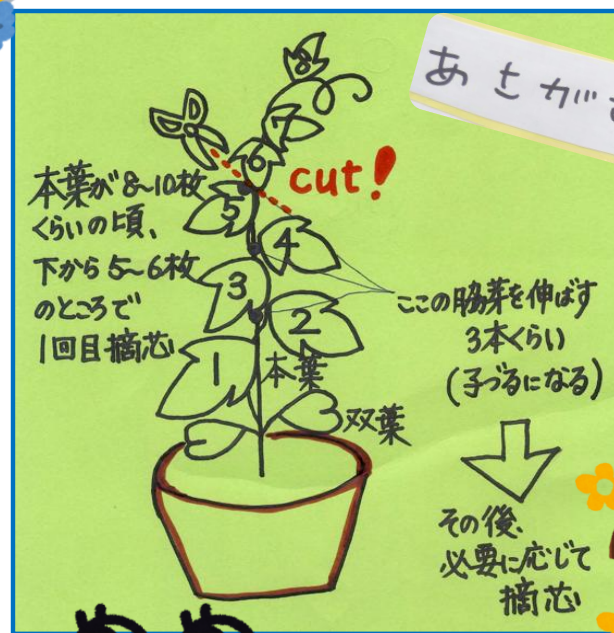
元気いっぱい園児たちがアサガオの種まき、水やりなどを育てています。
落ちた花を使って、色水を作ることも楽しみのひとつ。

東保育園さんにお聞きしたコツ

育て方：
朝と夕に水やりをし、時々肥料をあげた。
ネットの高さが足りなかったため、伸びてきたツルは横に伸びるように、手を入れた。

グリーンカーテンの楽しみなど：
夏場の日差しを遮ることができて涼しいですし、花が咲いた朝はとてもきれいです。
園児たちが落ちた花で色水を作り、楽しんでいます。
(とてもきれいな色が出ます！)
忙しい毎日ですが、植物を通し、癒される場面がたくさんあります。
また、園児にとって、植物を育てるということは大切な経験になります。

＜アサガオの摘芯について＞
芽を摘むことで、ツルが増え、葉や花が多くなります！



グリーンカーテン
窓際でツル性の植物をカーテンのように育てること。
日光を遮り、室温の上昇を抑える効果だけでなく、植物の間を通り抜ける風が冷やされ、建物の中が快適になる効果も期待できる。
それにより、エアコンの節電につながり、環境に優しい暮らしとなる。
また、子供達が植物に触れることは、花育につながり、優しい気持ちや美しいと思う気持ち、育つと言われています。

アサガオの絵や工作は、
東保育園・西保育園の園児のみなさんの作品です

